

## 平成16年度 政策評価書（事後の事業評価）

担当部局：管理局開発計画課  
実施時期：平成16年10月～17年3月

**事業名**： 外装型F L I R装置

**政策分野**： 防衛装備の適正な維持・管理（研究開発）

**事業内容**： 航空機にポッド形態で搭載し、夜間・悪視程時及び電子戦環境下において前方視野を赤外線画像として表示し、航法を実施するために使用する外装型F L I R装置を開発した。

**所要経費**： 約69億円

## 評価の内容

### 1 事業の目的

航空機にポッド形態で搭載（別紙：「外装型 F L I R 装置の概要」参照）し、夜間・悪視程時及び電子戦環境下において前方視野を赤外線画像として表示し、航法を実施するために使用する外装型 F L I R 装置を開発することを目的とした。

（注）F L I R：Forward Looking Infrared（赤外線前方監視）

### 2 達成状況

#### (1) 達成効果

開発の経緯と得ようとした効果

航空機にポッド形態で搭載し、夜間・悪視程時及び電子戦環境下において前方視野を赤外線画像として表示し、航法を実施するために使用する外装型 F L I R 装置を開発した。開発にあたっては、母機に対する飛行特性等の影響を局限しつつ、夜間及び電子戦環境下での戦闘を重視し、夜間・悪視程時の視界等の向上を図ることとした。

達成された効果

下記の項目について、地上及び飛行状態において試験を実施し、外装型 F L I R 装置の技術的課題を解明した。

#### (ア) 基本機能

赤外線画像表示、操作性、視野角及び視界の範囲等、F L I R 装置の有する基本機能に関するデータを取得し、要求されている機能、性能を有することを確認した。

#### (イ) 識別性能

夏季及び冬季における天空と陸地、天空と海面及び艦船の識別距離に関するデータを取得し、実環境において要求されている機能、性能を満足することを確認した。

#### (ウ) 追尾及び測距機能

地上物体に対して追尾及び測距に関するデータを取得し、追尾機能及び測距精度は要求されている機能、性能を満足することを確認した。

#### (エ) 装置の運用領域

装置の熱設計モデルの妥当性を飛行試験により確認し、そのモデルを用いてシステム設計時に定めた運用領域以上で動作することを確認した。

#### (オ) 母機適合性

外装型 F L I R 装置の搭載による母機の飛行性能及び飛行特性に与える影響は小さいことを確認するとともに、母機の飛行可能領域を局限した。

#### (カ) 任務適合性

夜間・悪視程時及び電子戦環境下において目標を赤外線画像として表示し、地形地物を判別しながら航法等が実施できる

ことを確認し、F - 2の支援戦闘任務に対する適合性を有すること確認した。

(キ) 整備性及び信頼性

F L I R及び支援器材の整備性及び信頼性が、要求を満足することを確認した。

(2) 達成時期

平成8年度から試作に着手し、平成16年度までに試験を終了した。

(3) 教訓等事項

外装型F L I R装置では、夜間及び電子戦環境下での戦闘を重視するため、夜間・悪視程時の視界等の向上ばかりでなく、母機に対する飛行特性等の影響を局限した。今後の航空機搭載型電子装置の技術開発において、これらの成果を積極的に活用する。

**今後の対応**

今後支援戦闘機部隊に装備し、着上陸侵攻対処等の任務を確実に遂行する予定である。

**その他の参考情報**

別紙 外装型F L I R装置の概要